

「渋谷区DX推進基本計画（素案）」に関する
パブリックコメントの実施結果

1 実施期間 令和8年1月30日（金）から令和8年2月13日（金）まで

2 意見総数 9件（提出人数9人）

3 提出された主な意見及び区の考え方（要旨）

No.	意見要旨	区の考え方
1	DX推進にあたり、子どものスマートフォン過度利用が発達に与える影響を考慮し、保護者向けの啓発や支援を行うことを要望する。	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、DXの推進にあたっては、子どもの健全な発達に配慮した取り組みとなるよう努めてまいります。
2	海外ではスマートフォンで多くのサービスが完結でき、区役所にほとんど行く必要がなかった。区民サービス向上のためDXを積極的に推進、促進してほしい。	海外でのご経験を踏まえた利便性に関するご指摘は、DX推進の意義を考える上で示唆に富むものと受け止めております。区民サービスの向上につながるよう、引き続き計画の推進に取り組んでまいります。
3	教育分野ではデジタル活用の利点を踏まえつつ、健康や思考力などへの影響に配慮し、一辺倒ではないユニークなデジタルとアナログの融合を目指してもらいたい。	いただいたご意見の趣旨を踏まえ、教育の質や子どもの健全な成長に配慮した取り組みとなるよう努めてまいります。
4	マンションを単位とした地域コミュニケーション強化にDXの活用を検討してほしい。その際、外国人居住者増加への対応の観点も検討してほしい。	いただいたご意見は、今後の地域コミュニケーションに関するDX活用の可能性を検討する際の参考とさせていただきます。
5	健康寿命延伸については、歩行促進ポイント制度ではなく、健康リスクの高い個人に重点を置いた取り組みを行うべきである。	今後、DXとデータ利活用を積極的に推進することで、既存事業の見直しを検討し、一人ひとりのウェルビーイング向上を目指してまいります。

6	区民のITリテラシー向上のため、スキル別に分けた講習など、個々の状況、ニーズに応じた支援を実施してほしい。	本計画においても、一人ひとりの状況に応じたパーソナライズ化は重要な視点と位置付けております。今後の事業検討や支援の在り方を考える上で参考とさせていただきます。
7	DXの成果指標はデジタルサービスの利用率ではなく、区民の健康などアウトカムを重視して設定すべきである。	DX推進における成果の捉え方について、アウトカムを重視すべきとご指摘は重要な観点であると認識しております。今後、個別施策を実施していく中で、評価や指標を検討する際の参考とさせていただきます。
8	和暦のみではわかりにくいいため、DX推進の一環として年号は西暦を併記してほしい。	いただいたご意見を踏まえ、本計画上の年号表記を見直しいたしました。
9	デジタルデバインドに配慮するとともに、施策の効果や財政面を区民にわかりやすく示す仕組みを整備すべきである。	いただいたご意見は、今後の計画推進や情報発信の在り方を検討する際の参考とさせていただきます